

〈2016年度在京白聖会クラブ活動スケジュール〉

- 10月21日(金)「在京白聖会ゴルフ大会」
(会場：ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎／茨城県龍ヶ崎市)〈1面〉
- 11月26日(土)「ル・サロン・ブラン」(芸術鑑賞クラブ)
(大川美術館「松本竣介を鑑賞する旅」桐生市)〈4面〉
- 12月12日(月)・17日(土)「白聖芸術祭」
(会場：文房堂ギャラリー／千代田区神田神保町)〈1面〉
- 12月17日(土)「白聖歌会」
(宮澤賢治と五行歌の朗読会：文房堂ギャラリー)〈5面〉
- 平成29年2月5日(日)「歌の祭り」
(会場：渋谷区笹塚／Blue-T〈ブルーティ〉)〈5面〉

※ご質問、お問い合わせは事務局 03-6404-6379 へお気軽にどうぞ。



2015年12月19日、白聖芸術祭最終日

会場地図



文房堂ギャラリー

〒101-0051
千代田区神田神保町 1-21-1
文房堂ビル 4F
Tel: 03-5282-7941
(会場直通：会期中のみ使用可能)
Tel: 03-3291-3445
(ギャラリー事務所)
http://www.bumpodo.co.jp/
＊ギャラリーへはエレベーターを利用。
〈アクセス〉「神保町」駅(東京メトロ半蔵門線、都営三田線、新宿線)A7出口、徒歩3分／JR「御茶ノ水」駅御茶ノ水橋口、徒歩10分

2016白聖芸術祭

一年の締めくくりに、芸術に耽る

「白聖芸術祭」 12月12日(月)～17日(土) 文房堂(神田神保町)で開催

第9回「白聖芸術祭」は、今年も神田駿河台下の文房堂(ぶんぽうどう)で開催します。絵画・書・彫刻・陶芸・写真などの展示のほか、朗読・歌唱など多彩なイベントも増え、今ではすっかり年末の恒例行事になりました。広いスペースで、芸術に耽る贅沢なひと時。多くの皆様のご出展、ご出演、及びご来場をお待ちしております。

開催概要

- ▼開催日：平成28年12月12日(月)～17日(土) 11:00～18:30(最終日は15:00) ※搬入は12月11日(日) 10:00から。
- ▼会場：文房堂ギャラリー(左記)
- ▼出展料：一人2千円(2点まで)

在京白聖会報

第41号

平成28年9月24日

発行

岩手県立盛岡第一高等学校在京同窓会
在京白聖会

(事務局)
〒143-0015 東京都大田区
大森西 2-17-4-201
TEL. (03) 6404-6379
FAX. 直通 (03) 6404-6379*00
E-mail: hakua_office@pmp-jp.com
(http://www.hakua.org/tokyo/)

題字：浅沼 一道

で。2点以上は1点に付き、プラス1千円。グループ展出展料もこれに準じます。イベントは1時間2千円(準備、撤収時間含)。
▼懇親会：搬入日の12月11日(日) 17:00から懇親会を行います。会費は4000円程度(会場未定)。
▼申込締切：11月13日(日)。
▼申込＆問合先：三浦千波さん(S50卒)。〒211-0035 川崎市中原区井田2の15の50
電話(044) 797・2170
※なお、詳細は申込み締切り後各出展(出演)者にご案内します。



「歌の祭り」有志によるミニコンサート(2015.12.16)



搬入日、会場設営を終えて(2015.12.13)

在京白聖会ゴルフ大会

参加者募集

10月21日(金) —
ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎

申込み締切りは10月1日(土)ですので、参加ご希望の方は今すぐお申し込み下さい。

開催概要

- ▼開催日：平成28年10月21日(金)
- ▼会場：ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎
- ▼申込み先及び申込み締切り：①氏名 ②卒業年次 ③連絡先住所 メールアドレス、電話番号 ④チームの場合代表者氏名 ⑤送迎バス利用の有無を明記の上、10月1日(土)までに郵送、メールorFAXにて担当幹事までご連絡ください。(先着順)
- ▼申込み先：本年の担当幹事：細越博資さん(S40卒)
- ①郵送：〒174-0063 板橋区前野町3-1-221 ②メール：hidoosogoshi@icom.home.ne.jp ③TEL&FAX：03-6789-6151

※実施要項等 詳細は担当幹事から参加申込者にご連絡いたします。



昨年の参加者(2015.10.23 ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎)

追悼

内村泰前会長の逝去を悼む

在京白聖会 会長 馬場信

在京白聖会前会長内村泰氏（S39卒、東京農業大学名誉教授）が7月30日、かねて病氣療養中のところ逝去された。71歳でした。在京白聖会を代表し衷心よりお悔やみ申し上げます。

内村さんは、平成26年会長に就任され、在京白聖会の伝統の永続と会員相互の交流に邁進されるところに、創立50周年記念事業を率先推進されました。また、しばらく疎遠になっていた岩手県人連合会との連携回復に腐心されるなど組織の強化を図りました。

とくに、3年後となる50周年記念事業についてはいち早く実行委員会を立ち上げ、在京白聖会創立50年史の編纂に着手されました。在京白聖会草創



在京白聖会 内村 泰前会長

の頃より総会出席を欠かすことがなかった内村さんとしては、50周年を自らの手で成功するべく強い意欲を持って取り組んでおられました。

そうした内村さんでしたが、昨年12月頃より病状が悪化、翌2月には会長辞任を申し出られました。50周年記念事業の行く末に気がかりを残されたものと拝察いたしますが、この際、我々在京白聖会会員が一致団結して内村さんのご意志を成し遂げることをお誓い申し上げますので、どうか安らかに眠って下さい。

なお、在京白聖会には会員から追悼の言葉が寄せられております。以下にその幾つかを紹介いたします。（順不同）

* * *

高校卒業以来、内村さんとはたまたま息子が東京農業大学に入学したことでお付き合いが復活、誘われて参加した富士農場宿泊見学会で学生が解体した牛一頭のバーベキュー、ス टीमファイヤーで

の大根踊り、収穫祭等多くの機会に農大を満喫させて頂きました。以来、私はすっかり農大ファンです。内村さんありがとう。

(S39卒・鷹背義哲)

* * *

内村さん、お疲れ様でした。煙草もお酒もお構いなしの、豪快な人生でした。在京白聖会だけのお付き合いでしたが、いつも後輩の私たちを面倒みてくださりありがとうございました。天国の在京白聖会では新人ですね。会長は工藤先

在京白聖会50周年記念事業

平成31年発行に向け
50周年記念誌制作等にご協力を

在京白聖会会長・創立50周年記念事業委員会委員長 馬場信

昭和43年夏、母校硬式野球部の甲子園出場の応援を機に、翌44年（一九六九）に設立されたのが在京白聖会。3年後の平成31年（二〇一九）5月13日、創立50周年を迎えます。そこで在京白聖会では昨年、50周年記念誌の発行等を柱とする在京白聖会創立50周年記念事業委員会を立ち上げました。

50周年記念事業の骨子は以下の通りです。

○50年史編集委員会
委員長 鈴木文彦（S40卒）

生でしょうか？サンキュ、サンキュ、ウチムラ！

(S48卒・副会長戸田純)

* * *

在京50周年記念事業に早々と向かわれたその情熱、誰も手を付けたがらない県人連合会内部の改革旗揚げ、それらのパワーに圧倒されていただけに、余りにも早過ぎるお別れは本当に無念でなりません。変化への狼煙を決して絶やさぬよう、見守りたいと存じますので安らかに眠りください。

(S47卒・事務局長藤井則夫)

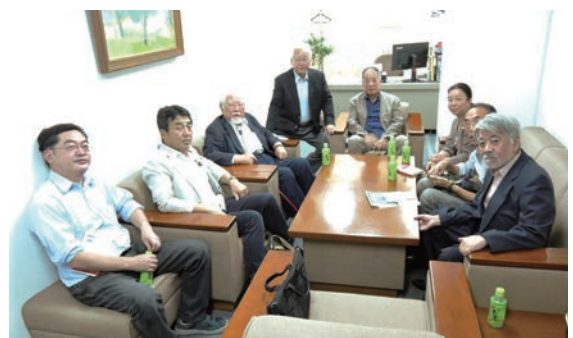
事務局 岩澤新治（S45卒）
○記念式典実行委員会
委員長 白石源次郎（S41卒）

○表彰委員会

* * *

◆「同期会活動報告」及び「総会報告」の締め切りについて

これらの50周年記念事業中、50年史編集委員会は昨年9月30日、第1回編集委員会を実施。以降、すでに4回の編集委員会を重ね、内容や構成、編集・制作のスケジュール化などを進めてきました。そして、今回



50年史 第1回編集委員会 (2015.9.30 産報出版にて)

の50年通史の核となる「各年次同期会の活動報告」及び「総会幹事年の総会報告」については、幹事会を通じて各年次で決めていただいた50年史担当者に原稿の依頼をしています。締め切りは今年12月末ですので、よろしく願います。

◆総会集合写真提供のお願い

在京白聖会記念誌はこれまで創立20周年、創立35周年の2回発行されました。しかしこれらに総会の集合写真が掲載されていない年次もあります。もし、お手元に記念誌未収録の集合写真がありましたら、ぜひ、提供をお願いします。

この他の創立50周年記念事業も着々と準備が進んでいます。これからもご協力をよろしく願います。

2016 総会報告

未来へつなぐ 白聖の絆

290余名が集結し、盛大に開催

日時：平成28年5月14日(土)

講演会15:30、総会・懇親会17:00

会場：東京ガーデンパレス(御茶ノ水)

平成28年5月14日(土)、東京ガーデンパレスにて、第48回在京白聖会総会が開催されました。今年は290名の方にお越しいただき、昨年に続いて大変な盛況になりました。

当日は来賓として、盛岡一高の平賀信二校長と白聖同窓会の谷村邦久会長、恩師からは、佐野茂樹先生、野村武士先生、三田信一先生にご臨席を賜りました。



母校・平賀信二校長のご挨拶



馬場信会長のご挨拶

今年のテーマは『未来へつなぐ 白聖の絆』。総会に先立つ記念講演会は2部構成で、はじめに山形大学教授佐藤慎也さん(S59卒)が、被災地の未来を担う子供と築く復興まちづくりプロジェクトの活動について、続いて煤茶工房しゃおしゃん代表の前田千香子さん(S59卒)が、地元の方々と共に行っている陸前高田と大船渡の北限のお茶「気仙茶」と地域文化の保存継承活動について講演を行い、大好評を博しました。



佐藤慎也さん(S59卒)の記念講演



前田千香子さん(S59卒)の記念講演

懇親会では、馬場在京白聖会新会長、平賀校長からのご挨拶に続き、私たちが在学していた頃にテレビで放送された盛岡一高応援委員の活動の映像を紹介しました。応援団長だった大坪徹磁さん(S59卒)が登壇し当時の思い出をユーモアたっぷりに語り、大いに盛り上がりました。

また、平成27年度近畿インターハイでの一高生の大活躍も紹介しました。特に陸上女子2000メートルで優勝の快挙を成し遂げた川村知巳さん(H28卒)の優勝シーンの上映では、会場から歓声と拍手が沸き起こりました。最後に校歌を全員で声高らかに歌って会場の熱気は最高潮に達しました。

来年の第49回在京白聖会総会は、平成29年5月13日(土)、今年と同じ東京ガーデンパレスで開催の予定です。昭和60年



恒例の校歌斉唱



乾杯のご発声は谷村邦久白聖同窓会会長(S41卒)



総会幹事担当のS59卒の皆さん。ご苦労さまでした



来年の総会幹事担当、S60卒の皆さん

ル・サロン・プラン (芸術鑑賞)

参加者中
募集11月26日(土) —
大川美術館

「松本竣介を鑑賞する旅」

彦部家住宅庭園の紅葉がいちばん美しい時期に大川美術館を訪ねます。平成19年に一度実施し、たいへん人気の高かったコースです。大人の休日倶楽部乗り放題の期間にもなっていますので、遠方の方もぜひ、ご参加下さい。

開催概要

▼開催日：平成28年11月26日(土)

▼集合場所：東武伊勢崎線浅草駅改札口

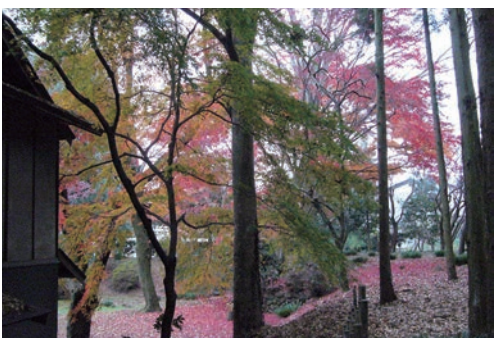
▼集合時間：午前8時20分

▼行程：浅草駅発08:40(特急りょうもつ5号) ↓新桐生着10:28

▼見学先：○大川美術館 (http://okawamuseum.jp/index.php)

※学芸員に解説していただきます。

○彦部家住宅 (http://www.hikobe.ke.jp/) ※若手眞紫波郡彦部のルーツです。



庭園の紅葉が美しい彦部家住宅



学芸員の解説で見学 (平成19年)



大川美術館前で (平成19年)

▼申込み：11月19日(土)迄に在京白聖会事務局(nakua_office@nnp.jp.com)へ。
▼その他：在京白聖会非会員の参加も可能です。
※10:40頃、大川美術館に直接集合されても構いません。その場合は、申込み時にお申し出下さい。なお、特急りょうもつ5号は全席指定ですので事前購入をお勧めします。

第16回歌の祭り

参加者中
募集平成29年2月5日(日)
ピアノ伴奏で歌う

歌の新年会を以下の要項で実施します。世代、ジャンルを越えて一堂に会し、ピアノ伴奏で歌を楽しむ「第16回歌の祭り」。どなたでも参加できます。お気軽にお出かけ下さい。

開催概要

▼日時：平成29年2月5日(日)

▼受付：11時30分

▼開演：12時▼終了17時30分

▼場所：中国茶レストランブルーレイ

渋谷区笹塚1-61-8 ホテルル

ガール1階に併設

▼アクセス：京王線 京王新線笹塚駅北口※駅前の甲州街道(20号線) 沿いに調布方面へ徒歩5分程。

▼会費：5千円(食事、飲み物代)



21名が参加し盛大に開催された第15回歌の祭り (2016.7.24)

五行歌、短歌、俳句、川柳、詩など、ジャンルも問いません。ペンネームでの投稿も可能で、必要に応じて自分の投稿を自分で削除・編集することもできます。

また、今年度も白聖芸術祭への作品の出版及び最終日12月17日(土)午後1時から、野口田鶴子さんによる「五行歌と宮澤賢治の朗読」のイベントを予定しています。多くの皆様の投稿・参加をお待ちしております。

投稿募集
「白聖歌会」の部屋
ネット歌会投稿募集

白聖歌会は「ネット歌会」にリニューアルして2年目を迎えました。在京白聖会公式サイト「クラブ活動」または「白聖応援団30」サイトからリンクする掲示板「白聖歌会室」にどなたでも自由に投稿できます。現在は白聖会員の家族の方で投稿される方もいます。

白聖歌会

▼申し込み先：大内秀之さん(S35卒) civo4580@rio.odn.ne.jp
〒245-0062
横浜市戸塚区汲沢5-30-5
電話(045) 864-3215
※演奏：歌唱、演奏される方は一人2曲以内です。

第12回白聖レディス会

6月18日(土)

鈴木文彦さんゲストに開催

第12回在京白聖レディス会が、鈴木文彦さん(S40卒)をゲストに迎え、6月18日(土)Sun.H(サンミ)本店で開催されました(七丁目店から会場変更)。鈴木文彦さんは元文芸春秋編集者で、現在は『北の文字』編集委員、盛岡ふるさと会会長などを務めています。『オール読物』編集長時代は藤沢周平を担当、藤沢周平を中心に交友のある大御所作家の素顔や人となりをお話いただきました。きつと白聖女子にも時代小説ファンが増えたかと思われます。

なお、今回は20名の参加者中4名が初参加でした。次回開催は次号会報でご案内します。



在京白聖レディス会に参加された皆さん (2016.6.18)

在京白聖メディカルクラブ

第48回総会にて
正式クラブ活動に承認

在京白聖メディカルクラブは、在京の白聖同窓生で医療関係の業務に従事している皆様の親睦を深め、在京白聖会全体

にも奉仕していくことを目的として平成25年2月に第1回幹事会を開催し発足しました。平成26年2月18日に第1回総会を開催し、正式に会則が承認され、以後年1回の総会を開催しています。今年、平成28年は3月5日に第3回総会を開催し、メディカルクラブ

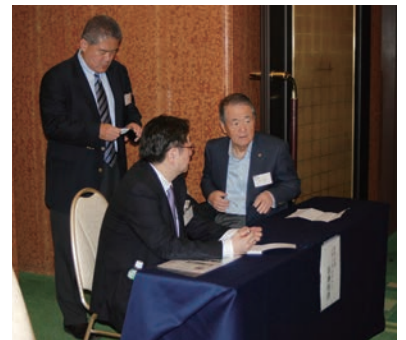


第1回在京白聖メディカルクラブ総会参加者の皆さん(2014.2.18)

また、在京白聖会総会において健康相談コーナーを設けて、会員の皆様から健康相談を承っています。第47回総会から始めて今年で3回目、徐々に相談件数も増えてきております。どん

な些細な相談でも構いませんので、来年の総会においでの際にはお立ち寄り下さい。
(在京白聖メディカルクラブ事務局)

志和成紀(S58卒)
國本聡(S57卒)



総会の健康相談コーナー(2016.5.14)

ア・ラ・カルト

●阿部正樹さん(S36卒)
園井恵子の芝居『残花』上演

岩手県松尾村生まれの宝塚スターで、昭和20年広島で被爆し亡くなった園井恵子の追悼公演『残花』1945 さくら隊 園井恵子が5〜6月に右手、秋田、東京で公開され、東京は6月1日(水)から5日(日)まで「座・高円寺



大反響だった『残花』公演のチラシ

「米国の原爆効果調査団が広島に入ったのは9月、すぐにプレスコードが布かれ、原爆に関する一切の報道が禁止された。その結果、無数の被爆者は適切な治療を受けることも出来ず、国民もまた原爆

1」で上演されました。この『残花』の公演には多くの白聖OBが関わっています。原案の阿部正樹さん(S36卒・ペンネーム上田次郎)、脚本の渡辺真理子さん(S58卒・ペンネーム詩森ろば)、俳優に一人・畠山泉さん(H19卒・さくら隊隊員役)です。阿部さんは30年ほど前、まだ知られていなかった園井恵子の存在を初めてテレビ番組で紹介しました。また、柴田和子さん(S42卒)は園井恵子語り継ぐ会会長として、本公演を陰に陽にサポートしました。

15歳で家出同然に故郷を出て憧れの宝塚を目指し、人の何倍も努力してトップスターの登りつめた園井恵子は、その後阪東妻三郎の『無法松の一生』で一躍銀幕のスターになりました。しかし、日本が戦争に突き進む中、各地を慰問して回る国策の移動劇団「さくら隊」のプリマドンナとして活動すること余儀なくされ、広島に駐在中に被爆しました。その日、8月6日は奇しくも園井の32歳の誕生日でした。被爆した園井は、奇跡的に傷一つなかったといいますが、それでも被爆して6日後、宝塚時代から母と暮っていた避難先の六甲の知人の家で、原爆症で亡くなりました。

●みやこうせいさん(S31卒)

『MARAMURESU MEU』

09年にルーマニア政府から芸術騎士十字章(日本の文化勲章に相当)を授与されたみやこうせいさん(S31卒)の写真集が、このところ立て続けに4〜5冊、ルーマニアで発行されています。本書『MYA KOSEI MARAMURESU MEU MY MARAMURESU』もその一冊で、昨年、ルーマニアで刊行されました。



みやさんの写真集がルーマニアで相次いで出版された

マラムレシュは北々西ルーマニアに位置してウクライナと接するヨーロッパ随一のフォークロア残存地域。みやさんの写真集はこれまでもフランスやイタリアなどで出版され話題となってきました。全てモノクロで印刷された本写真集は昨年、ルーマニアで最も美しい本のコンクールの写真・デザイン部門に入賞。国際ブックフェアにも出品され、批評、インタビュ記事が続々出るなど、世界的に高く評価されています。







ア・ラ・カルト

●野口田鶴子さん(S40卒) 「イーハトーブ賞奨励賞」受賞

今春2月27日(土)、東日本大震災に遭遇した体験を詠んだ句集「竜宮」を出版した釜石市在住の照井翠さんとのコラボで、「チャリティー公演2016 東日本大震災に寄せて 鎮魂のうたⅡ」を行った野口田鶴子さん(S40卒)が、花巻市のイーハトーブ賞奨励賞を受賞しました。方言を生かした賢治作品の定期朗読を長年継続してきたことによるもの。2002年から広尾・東江寺で「宮沢賢治の世界」を年2回定期公演、横浜白楽のハイド&シークでの定期公演などが評価されました。ますますのご活躍を期待いたします。

編集後記

▼在京白聖会は3年後の平成31年(二〇一九)に創立50周年を迎える。50周年記念事業委員会も立ち上げた。総会参加者は東日本大震災以降、300人前後と高水準を維持している。50周年に向け、会勢をさらに盛り上げていきたいと、委員一同張り切っている。▼在京白聖会設立のきっかけとなった昭和43年の甲子園出場の立役者・小笠原敬一さん(S44卒)が8月29日逝去された。ピッチャーで4番だった。筆者は中学時代、彼と対戦した経験がある。筆者が中3で彼は中1だったが体格も球速も規格外中学生とは思えなかった。甲子園でのベスト8も領けた。『暁福を祈る』▼故郷が未だ東日本大震災の復興途上なのに、台風10号が再びキバを向けた。無情だが立ち止まるわけにはいかない。故郷の元気はみんなの元気。白聖魂で、みんな笑顔を取り戻したい。(Y)

お願い

平成28年度在京白聖会会費未納の方は、同封の振替用紙にて年会費2,000円のお振込みをお願いいたします。なお、すでにお支払い済みの方に振替用紙が届きましたら、ご容赦下さい。